

**製品名: シヌクレイン  $\beta$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18518**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	14kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SNCB
別名	SNCB; Beta-synuclein
遺伝子 ID	6620.0
SwissProt ID	Q16143
免疫原	抗血清はヒトシヌクレイン $\beta$ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 85-134

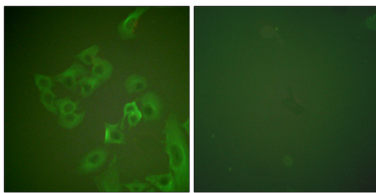
**背景**

この遺伝子は、ホスホリパーゼ D2 を阻害するタンパク質の小さなファミリーのメンバーをコードし、神経可塑性に機能する可能性がある。コードされているタンパク質は、アルツハイマー病患者の病変に豊富に存在する。レビー小体型認知症の患者でこの遺伝子の

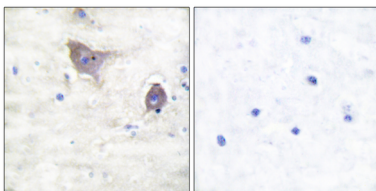
変異が見つかった。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015年12月]、疾患：脳鉄蓄積型1型（NBIA1、ハレルフォルデン・スパッツ症候群とも呼ばれる）は、まれな神経軸索ジストロフィーであり、組織学的には軸索スフェロイド、鉄沈着、レビー小体（LB）様神経細胞内封入体、グリア封入体、神経原線維変化を特徴とする。SNCAはスフェロイド中に見られるが、封入体中には見られない。機能：アルツハイマー病で見られる老人斑の非アミロイド成分。SNCA凝集プロセスの調節因子として作用する可能性がある。スタウロスポリンおよび6-ヒドロキシドーパミン（6OHDA）刺激によるカスパーゼ活性化からTP53/p53依存的にニューロンを保護する。6OHDAによって阻害されたSNCAの抗アポトーシス機能の回復に寄与する。パーキンソン病に関連するレビー小体には存在しない。PTM：リン酸化。Gタンパク質共役受容体キナーゼ（GRK）によるリン酸化は、CK1、CK2、およびCaMキナーゼIIによるリン酸化よりも効率的である。類似性：シヌクレインファミリーに属する。組織特異性：主に脳で発現し、シナプス前神経終末に集中している。

## 研究分野

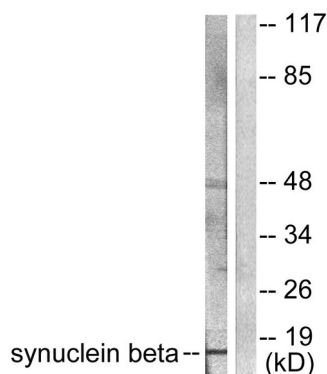
## 画像データ



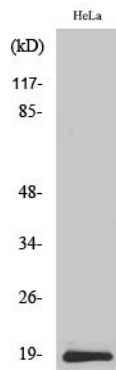
シヌクレインβ抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



シヌクレインβ抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



シヌクレインβ抗体を用いたHeLa細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



シヌクレイン $\beta$ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析